

| | | | | | | |
|----------|-------|----|---------|----|-----|-------|
| 授業科目名・形態 | 介護過程Ⅴ | 講義 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 2 |
| 科目担当者氏名 | 山田 克宏 | | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 3年 前期 |

【授業の主題】

本人の望む生活の実現に向けて、クライアントの思いを汲み取り、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学習する。介護過程Ⅲ・Ⅳ及び他の科目で学習した知識を活かし、介護過程を展開し、介護サービス計画に基づくクライアント主体の介護サービスが提供できる能力を養うことを目的とする。ケアマネジメントは、地域生活における自立した生活が困難になったとしても、医療・保健・福祉などのさまざまな公的サービス・インフォーマルサービス・セルフケアを活用することで、「その人らしい生活」の継続ができるようにする方法である。ここでは、介護過程とケアマネジメントとの関係、利用者の生活と介護過程を結び付けていく展開過程について学ぶ。さらに、チームアプローチについては、介護がチームワークで行うという認識を基に展開されていることの意味・必要性・方法について学習する。

【到達目標】

- 1) 実践に根ざした介護過程を展開し、クライアント主体の介護計画を立案することで個別性に基づく介護サービスが提供できるようになる。
- 2) チームアプローチの意味・必要性・方法を説明できる。
- 3) 生活支援の意味を理解した上で、個別援助計画が作成できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション、介護過程とチームアプローチ①ケースカンファレンス
- 第 2 回 介護過程とチームアプローチ②介護過程とケアプラン
- 第 3 回 介護過程とチームアプローチ③多職種との連携、介護過程の意義・目的・目標
- 第 4 回 チームアプローチの実際
- 第 5 回 情報収集とアセスメント
- 第 6 回 生活支援の課題と目標のとらえ方
- 第 7 回 介護計画作成のプロセス(計画・実施・評価)①
- 第 8 回 介護計画作成のプロセス(計画・実施・評価)②
- 第 9 回 介護計画作成のプロセス(計画・実施・評価)③
- 第 10 回 入所施設における介護過程の展開と実際
- 第 11 回 在宅における介護過程の展開と実際
- 第 12 回 個別事例で考える利用者の生活と介護過程の展開①
- 第 13 回 個別事例で考える利用者の生活と介護過程の展開②
- 第 14 回 個別事例で考える利用者の生活と介護過程の展開③
- 第 15 回 講義のまとめ

【授業実施方法】

講義および演習にておこなう。

【授業準備】

介護過程におけるアセスメント、解釈、関連づけ、統合化、課題の明確化に関して復習しておくこと。

【主な関連する科目】

介護総合演習、介護の基本、障害者の福祉

【教科書等】

介護過程(新・介護福祉士養成講座 9 中央法規出版)

【参考文献】

川村匡由：介護福祉論、ミネルヴァ書房、2011年、黒澤貞夫：生活支援学の構想、川島書店、2006年、田中安平：プロとしての介護福祉士を目指すあなたに、株式会社ラグーナ出版、2016年

【成績評価方法】

演習への取り組み等(20%)、提出物(20%)、レポート課題(60%)

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、通所介護事業所の介護業務、相談援助業務のなかで、クライアント思いを汲み取り「その人らしい」生活の実現を目指してきました。生活支援をおこなう上での「価値」「態度」を学べる講義とします。

【学生へのメッセージ】

実習での気づきを基に、クライアント主体、生活支援、チームアプローチの意味について理解を深めていってください。